

# 読み方の難しい地名・珍しい地名「20」(1/3)

～全国難解地名にも入る、読みにくい地名の数々～

地名はも文字のなかった先史時代からあった。それが幾十世代となく受け継がれて現在も使用されている。先祖と共に暮らしてきた道連れである。唐津の地名読み方の難しいもの、珍しい地名の由来等を記す。

## ■簀木(うつぼぎ)

唐津市厳木町うつぼ木(きゅうらぎまちうつぼぎ) 2010年現在  
「簀木」を「うつぼぎ」と読むことは「厳木」と共に全国の難読地名の筆頭であろう。

「簀」はケン・カンと読み、ウツボの訓読みはない。  
うつぼ木とは幹の空洞(うつろノうど)になっている老樹で、神霊の宿る霊木と説明される。正保(1645年頃)絵図に村名がみえる。

## ■厳木(きゅうらぎ)

唐津市厳木町厳木(きゅうらぎまちきゅうらぎ) 2010年現在  
「厳木」という文字はどうしてあてられたのだろうか「松浦記集成」によれば、松浦川の西厳木に開闢(かいびやく)以来という大楠があり、切り倒したときに川を越えて東に渡りいまの厳木に及んだという。人間の尊厳さ同様の厳(いつ)かしさがあったので、清らかなる木、「きよら木」が語源だとされている。

## ■星領(ほしりょう)

唐津市厳木町星領(きゅうらぎまちほしりょう) 2010年現在  
慶長絵図に「星路村」とあるのが初見で、中世後期、草野領と波多領の境目にあたっており、境目を示す榜示処(ぼうじしよ)より転訛して星領と呼ばれたとされている。

## ■相知(おうち)

唐津市相知町相知(おうちちょうおうち) 2010年現在  
松浦川と厳木川、両河川および伊万里道と佐賀道の「逢う地」が「おうち」になったという。

## ■志気(しげ)

唐津市北波多志気(きたはたしげ) 2010年現在  
峠続きの台地の意味から起こったとも、源為朝が御都築(みつぎ)に館を構えた時「士気を鼓舞する所」と言ったことによるとも伝えられる。  
～2/3へつづく～

◎エピソード・伝承・うんちく など

■柳田国男も「厳木」論考した。

■末盧(まつろ・松浦)  
約200年前の「魏志倭人伝」に出てくる由来で最も古い漢字表記の地名。

分野 文化

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

◎引用・参考文献(出典)

- ◆『佐賀県の地名』平凡社
- ◆『日本地名大辞典』角川
- ◆『唐津市史』
- ◆『浜玉町史』
- ◆『厳木町史』
- ◆『肥前町史』
- ◆『相知町史』
- ◆『鎮西町史』
- ◆『七山村史』
- ◆『呼子町史』
- ◆『北波多村史』
- ◆『末盧国』
- ◆『佐賀筑後難読地名さんぼ』石橋道秀
- ◆『佐賀地名うんちく事典』福岡博
- ◆『地名の研究』柳田国男
- ◆『日本語漢字辞典』新潮
- ◆『日本国語大辞典』小学館
- ◆『日本の地名』谷川健一

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)

# 読み方の難しい地名・珍しい地名「20」(2/3)

～全国難解地名にも入る、読みにくい地名の数々～

～1/3からつづく～

## ■鳥巢(とりす)

唐津市浜玉町鳥巢(はまたままちとりす) 2010年現在  
地名の由来は頂上を意味する方言「トンノス」によるとされる。また鳥獣が生息する地勢から「トリノス」という説もある。

## ■馬川(まのかわ)

唐津市七山馬川(ななやままのかわ) 2010年現在  
口伝に、聖徳太子が当山に来た時、太子の馬が疲れて進まず、川で馬を休めたので、この地が馬川というようになったと伝える。

## ■小友(こども)

唐津市呼子町小友(よぶこちょうこども) 2010年現在  
「肥前風土記」の登望(とも) 駅を小友・大友に比定する説があり「駅西東の海、鮑、螺、鯛、雑煮、海藻、海松等あり」という記述は当時にふさわしい。

## ■打上(うちあげ)

神功皇后がこの地に来て髪を角髪(みずら)に「打ち上げ」男装したことによると伝える。

## ■横枕(よこまくら)

正保絵図に村名がみえるが条里制の名残りの地名とされ、またどの田も日当たりの良いように横に広い形の地面に区画した。

## ■切木(きりこ)

正保絵図に村名がみえる。

## ■見借(みるかし)

見留加志とも書く。「肥前国風土記」松浦郡条には賀周(かす)里に「海松檀媛(みるかしひめ)」という土蜘蛛がいたと記されており、かなり古くから存在した知名。

～3/3へつづく～

分野 文化

地域 全域

◎地図・写真・統計資料など

◎引用・参考文献(出典)

- ◆『佐賀県の地名』平凡社
- ◆『日本地名大辞典』角川
- ◆『唐津市史』
- ◆『浜玉町史』
- ◆『厳木町史』
- ◆『肥前町史』
- ◆『相知町史』
- ◆『鎮西町史』
- ◆『七山村史』
- ◆『呼子町史』
- ◆『北波多村史』
- ◆『末盧国』
- ◆『佐賀筑後難読地名さんぼ』石橋道秀
- ◆『佐賀地名うんちく事典』福岡博
- ◆『地名の研究』柳田国男
- ◆『日本語漢字辞典』新潮
- ◆『日本国語大辞典』小学館
- ◆『日本の地名』谷川健一

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)

	分野																				
	文化																				
読み方の難しい地名・珍しい地名「20」(3/3) ～全国難解地名にも入る、読みにくい地名の数々～	地域																				
	◎地図・写真・統計資料など																				
～2/3からつづく～																					
■ <u>神集島(かしわじま)</u>																					
神功皇后が三韓遠征の折、この島を訪れ、戦勝祈願のため軍神たちを集めたことにちなむという。(松浦古事記)「太宰管内誌」に柏(かしわ)島とある。																					
■ <u>枝去木(えざるき)</u>																					
正保絵図に村名がみえる。浄泰寺記録(松浦記集成)にも村名がみえる。																					
■ <u>半田(はだ)</u>																					
判田とも書く。																					
■ <u>双水(そうずい)</u>																					
正保絵図に「双水村」とみえ、村名は「雙水」とも書く。																					
■ <u>養母田(やぶた)</u>																					
慶長絵図に「藪田村」と記し、正保絵図に「養母田村」とある。																					
■ <u>ニタ子(ふたご)</u>																					
「双子」「双児」「二子」「両子」の表記はあるが、「ニタ子」と書く地名は珍しい。																					
由来は戦国末期松浦党の川添監物の妻が当地で双子を生み、1人を残していったことによるとも、衣干山から流れ出る江の尻川の地生に2つの岩礁があることによるともいう。																					
■ <u>座川内(そそろがわち)</u>																					
正保絵図に村名がみえる。岩山が多く点在し、しかも急傾斜で落石しやすく、山の谷間に川が流れているところから地名がつけられた。																					
◎エピソード・伝承・うんちく など																					
■2010年現在の郵政住所表記																					
<table border="0"> <tr> <td>唐津市厳木町うつぼ木(きゅうらぎまちうつぼぎ)</td> <td>唐津市切木(きりご)</td> </tr> <tr> <td>唐津市厳木町厳木(きゅうらぎまちきゅうらぎ)</td> <td>唐津市見借(みるかし)</td> </tr> <tr> <td>唐津市厳木町星嶺(きゅうらぎまちほしりょう)</td> <td>唐津市神集島(かしわじま)</td> </tr> <tr> <td>唐津市相知町相知(おうちちょうおうち)</td> <td>唐津市枝去木(えざるき)</td> </tr> <tr> <td>唐津市北波多志気(きたはたしげ)</td> <td>唐津市半田(はだ)</td> </tr> <tr> <td>唐津市浜玉町鳥巢(はまたままちとりす)</td> <td>唐津市双水(そうずい)</td> </tr> <tr> <td>唐津市七山馬川(ななやままのかわ)</td> <td>唐津市養母田(やぶた)</td> </tr> <tr> <td>唐津市呼子町小友(よぶこちょうこども)</td> <td>唐津市ニタ子(ふたご)</td> </tr> <tr> <td>唐津市鎮西町打上(ちんぜいまちうちあげ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>唐津市相知町横枕(おうちちょうよこまくら)</td> <td>東松浦郡玄海町座川内(そそろがわち)</td> </tr> </table>	唐津市厳木町うつぼ木(きゅうらぎまちうつぼぎ)	唐津市切木(きりご)	唐津市厳木町厳木(きゅうらぎまちきゅうらぎ)	唐津市見借(みるかし)	唐津市厳木町星嶺(きゅうらぎまちほしりょう)	唐津市神集島(かしわじま)	唐津市相知町相知(おうちちょうおうち)	唐津市枝去木(えざるき)	唐津市北波多志気(きたはたしげ)	唐津市半田(はだ)	唐津市浜玉町鳥巢(はまたままちとりす)	唐津市双水(そうずい)	唐津市七山馬川(ななやままのかわ)	唐津市養母田(やぶた)	唐津市呼子町小友(よぶこちょうこども)	唐津市ニタ子(ふたご)	唐津市鎮西町打上(ちんぜいまちうちあげ)		唐津市相知町横枕(おうちちょうよこまくら)	東松浦郡玄海町座川内(そそろがわち)	
唐津市厳木町うつぼ木(きゅうらぎまちうつぼぎ)	唐津市切木(きりご)																				
唐津市厳木町厳木(きゅうらぎまちきゅうらぎ)	唐津市見借(みるかし)																				
唐津市厳木町星嶺(きゅうらぎまちほしりょう)	唐津市神集島(かしわじま)																				
唐津市相知町相知(おうちちょうおうち)	唐津市枝去木(えざるき)																				
唐津市北波多志気(きたはたしげ)	唐津市半田(はだ)																				
唐津市浜玉町鳥巢(はまたままちとりす)	唐津市双水(そうずい)																				
唐津市七山馬川(ななやままのかわ)	唐津市養母田(やぶた)																				
唐津市呼子町小友(よぶこちょうこども)	唐津市ニタ子(ふたご)																				
唐津市鎮西町打上(ちんぜいまちうちあげ)																					
唐津市相知町横枕(おうちちょうよこまくら)	東松浦郡玄海町座川内(そそろがわち)																				
◎エピソード・伝承・うんちく など	◎もっと詳しく知りたい方は																				
	唐津市近代図書館へ お問い合わせください。 ■電話：0955-72-3467 ■ホームページ： <a href="http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html">http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html</a>																				